

川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会（第3回）

日 時 平成27年2月19日（木）10：00開会
場 所 川崎商工会議所 第5・6会議室
傍聴者 なし

1 開会

司会

定刻になりましたので、これより、「平成26年度 第3回 川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会」を開催致します。私は、本日司会を務めさせていただきます川崎市総務局危機管理室の須田と申します。よろしくお願い致します。

本日の協議会につきましては、「公開」とさせていただきますこと、会議録を作成する関係上、写真撮影及び録音を取らせていただきますこと、また、議事録は、後日、氏名も含めましてホームページで公開させていただきますので、併せて御了承いただきたいと思います。また、携帯電話をお持ちの方は電源をお切り頂くか、マナーモードの設定をお願い致します。

次に、本日配布させて頂いております、資料の確認をさせていただきます。次第の下段に、配布資料について記載がございますので、併せてご覧下さい。

- 資料1-1 平成26年度 帰宅困難者対策訓練の実施結果等について
- 資料1-2 行動ルール修正点一覧
- 資料1-3 川崎駅周辺の災害時における行動ルール
- 資料2 帰宅困難者対策訓練 実施事例紹介
- 資料3 川崎アゼリアのリニューアル工事（第1期）のお知らせ
- 資料4 臨海部における帰宅困難者用一時滞在施設の指定について
- 資料5 平成27年度川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会スケジュール

議事に入る前に、座長の川崎市総務局危機管理室長から御挨拶させていただきます。

座長 総務局危機管理室 中村室長

本日はお忙しい中、第3回川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会に御出席いただきまして、ありがとうございます。私は本協議会の座長を務めさせていただきます、川崎市総務局危機管理室長の中村でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本協議会は平成 24 年 9 月に発足いたしまして、この間、皆様方には都市再生安全確保計画や川崎駅周辺の災害時における行動ルールの策定に御尽力いただいたところでございます。また、一時滞在施設に特設公衆電話を敷設させていただくとともに、昨年 7 月の本協議会におきまして、皆様方から御承認をいただきました一時滞在施設と鉄道事業者との帰宅困難者用無線機の通信訓練につきましても、毎月 10 日の 10 時に実施をしているところでございます。また、昨年 11 月 19 日には帰宅困難者対策訓練を実施させていただきました。その際には皆様方に多大なる御協力をいただきましたことを改めてこの場を借りて御礼申し上げたいと思います。本日は帰宅困難者対策訓練の来年度のスケジュールについて、皆様方と意見交換をさせていただきたいと思います。また、各種情報提供も予定しておりますので、よろしく願いいたします。協議会の皆様には今後ともより一層の御協力をお願い申し上げまして、開会にあたりましての挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

司会

それでは、これより議事に入らせていただきます。議事につきましては、中村座長に進行していただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

座長 総務局危機管理室 中村室長

それでは議事に入ります。最初に、議事（1）平成 26 年度帰宅困難者対策訓練の実施結果等について、事務局から報告をお願いいたします。

事務局 総務局危機管理室 須田担当課長

それでは、危機管理室の須田から説明をさせていただきます。

（以下、資料 1-1,1-2,1-3 に基づき説明）

座長 総務局危機管理室 中村室長

ただいま、事務局から議事（1）について説明がございました。これまでの事務局からの報告に関しまして皆様から御意見を伺いたいと思います。初めに、訓練で得られた教訓や反省点、それから、今後の訓練への要望等がございましたらお願いしたいと思います。皆様方から訓練に参加された御感想でも構いませんので、何かございましたらお願いしたいと思います。

（意見等なし）

発言が無いようですので、私のほうから申し訳ないのですが、御指名をさせてい

ただきたいと思います。初めに、鉄道事業者様に御意見・御感想をお聞きしたいと思います。ＪＲ川崎駅様お願いいたします。

ＪＲ川崎駅 菅沼氏（副駅長）

ＪＲ川崎駅の菅沼と申します。よろしくお願いいたします。当日でございますけれども、２０名様程度の配役の方がいらっしゃいまして、思ったよりも大変だったというのが感想でございます。特にマップをそれぞれにマーカーをつけてお渡しをするという場面がございまして、これが意外に大変でございました。御意見のほうにもマップを一人一人に配るのは難しいというのがあったと思いますが、これはけっこう大変でした。それから、ハングルしかわからないという方がいらっしゃいまして、こういう方もあまりいらっしゃらなくて、どういう対応をしたら良いか、一瞬固まったというところでございます。とにかく今回は３０名の御案内ではございましたが、実際には乖離がございまして、１０００人とか２０００人とか３０００人とかもっと多くなるとお思いますので、私共も勉強していかなければならないと思っております。当駅としましては、非常に実になる訓練でございました。ありがとうございました。

座長 総務局危機管理室 中村室長

ありがとうございました。それでは、京急川崎様、よろしくお願いいたします。

京急川崎駅 上田氏（駅長）

京急川崎駅の上田です。当日はＪＲさんと一緒に３０名ほどの滞り者だったのですが、一時滞在施設が開設されたということで御案内する時に、駅係員が３名のところに多数の人が寄ってきてしまったということで、かなりアップアップしてしまった対応になってしまったということで、今後は整列をさせて一人一人どこに行ったらいいかということをやちゃんと案内しなければいけないという、我々鉄道会社の反省点がありました。それと、京急川崎の場合は西口と本口があるので、できることであれば無線機の増設をお願いしたいと思います。どうしても両方に滞り者が溜まってしまうと思うので。色々と良い経験が出来たので、今後もより良い対策を取っていただきたいと思います。

座長 総務局危機管理室 中村室長

ありがとうございます。それでは一時滞在施設の御感想もお聞きしたいと思います。アゼリア様お願いいたします。

川崎アゼリア株式会社 古尾谷氏（総務部渉外課長）

川崎アゼリアの古尾谷でございます。アゼリアの場所が改札口から近かったということもあって、予定の方よりも多くの方がいらしたような感じで、備蓄物資を配る時も少し余

分にお預かりしていたのですけれどもギリギリでした。それから、訓練ですからタイムスケジュールに乗っ取っていらっしゃる予定だったと思うのですが、準備ができるというアナウンスの無線を入れる前に、ぞろぞろといらしてしまったという状況でした。それから、ビブスを付けた耳の不自由な方の役や言葉の分からない方の役が今回はリアルにやっていたきまして、対応するほうといたしましても一生懸命頑張ったのですけれども、最後に「鉄道の運行が再開しました」という放送でアゼリアのほうも解散したのですが、耳の聞こえないというビブスを付けた方が手振り身振りで「分からない」ということを言われてしまって、うっかりしておりましたけれども、そんな状況で今回は非常にリアルで対応の難しい方が大勢いらしたのですけれども、対応がスムーズにできたのかなという気がいたします。ただ、先ほども説明があったとおり、滞在場所と特設公衆電話を隣に並べてしまったんですね。それで、特設公衆電話の声が聞こえないという意見がだいぶあったのです。事務局のほうで予算があれば電話機を配布して頂けるといいう話があったのですが、その時は音量調節ができる電話機を買っていただいたほうが良いかなと思います。うちは音量調節のできる電話機を用意して対応したのですが、雑踏の中で聞きにくいという反省がございましたので、よろしくお願いいたします。以上でございます。

座長 総務局危機管理室 中村室長

ありがとうございます。続きまして、教育文化会館様お願いいたします。

教育文化会館 小島担当係長

教育文化会館の小島と申します。よろしくお願いいたします。教育文化会館は距離が遠いせいか予定では20人と言われていたのですが、実際には5、6人しか来なかったということで、距離が遠いということは案内する側も大変だと思うのですが、またマップも小さくて見づらいのかなと思いました。結局、予定よりも人が少なくある程度の対策は整えていたのと、時間的にも距離があつて余裕があったということ、危機管理室の係員もいたので、どうにか上手くいったのではないかと思います。以上です。

座長 総務局危機管理室 中村室長

ありがとうございます。それでは、帰宅困難者役として5人の方に参加していただきましたNREG東芝不動産様お願いできますでしょうか。

NREG東芝不動産株式会社 郡司氏（ラゾーナ川崎東芝ビル事務所長）

NREG東芝不動産の郡司です。帰宅困難者の訓練は役割分担も色々やっていたので、こちらで見ていても面白かったという大変な言い方になってしまうのですが、役立ったのだらうなと思いました。私は最終的にはアゼリアのほうに避難したのですけれども、その時にアンケートにも書かせていただいたのですが、実際に大地震が起こったとな

ると、今回は一番広い道を案内されて行ったのですけれども、たぶんその道が確実に行けるかどうか分からない。そうすると避難誘導の方がある程度もう少し数がいないと実際の時にはそちらのほうに辿り着くのが難しいのではないかと書かせていただいた記憶がございます。今回は前回の訓練に比べますと実のある訓練であったと思います。以上です。

座長 総務局危機管理室 中村室長

ありがとうございます。只今、鉄道事業者、一時滞在施設、帰宅困難者役をやられた方々から御意見をいただきましたけれども、その他、皆様のほうから御感想あるいは御意見等ありますでしょうか。

(意見なし)

よろしいでしょうか。今回の訓練にあたりましては、先ほど事務局から資料で紹介をさせていただきましたように、様々な課題もございました。また、御協力をいただきました皆様からもお話がありましたように色々な課題があるということで、これらの課題の整理に向けまして、次年度もさらにより良い訓練、あるいは実態に即した訓練にできるように、われわれも計画したいと思っております。

それでは、時点修正をいたしました川崎駅周辺の災害時における行動ルールに関しまして皆様のほうから何か御意見はございますでしょうか。

(意見なし)

よろしいですか。それでは意見が無いようですので、行動ルールの修正については御承認いただいたとうことで御了解いただきたいと思います。

それでは次に議事（２）各種情報提供ということで、帰宅困難者対策訓練の実施事例を事務局から御紹介させていただきます。

事務局 総務局危機管理室 楠担当課長

総務局危機管理室の楠でございます。私からは今年度川崎市内で実施した帰宅困難者対策訓練の実施事例を紹介するとともに、来年度の訓練の構想案についてもお話しさせていただきます。

(以下、資料２に基づき説明)

座長 総務局危機管理室 中村室長

只今、事務局から他の区の帰宅困難者の訓練に関する状況につきまして説明がありまし

た。また、平成 27 年度の帰宅困難者対策訓練はまだ構想という段階で、これから各部署のほうと調整をしていくのですけれども、一応このような形でやっていきたいという事務局からの説明でございましたけれども、何か皆様のほうで御質問等がございますでしょうか。

(意見なし)

来年度の訓練につきましては、来年度に入りまして、この協議会の中で改めて考えていきたいと考えているところでございます。

それでは帰宅困難者の一時滞在施設として御協力をいただいております川崎アゼリア様より川崎アゼリアのリニューアル工事につきまして御報告をいただきたいと思います。それでは、川崎アゼリアの経営企画・危機管理担当部長の持田様よりお願いいたします。

川崎アゼリア株式会社 持田氏（経営企画・危機管理担当部長）

(資料 3 に基づき説明)

川崎アゼリアの持田です。川崎アゼリアのリニューアル工事に伴い帰宅困難者への提供等に関連がございますので、情報提供させていただきます。初めに、今回のリニューアルにあたりまして、アゼリアには 150 テナントありまして、そこのオーナーさんの御協力とそれから、川崎警察署の御指導と川崎市の色々な関係局の御指導の下にやっと工事着手に至った訳でございます。関係の皆様は心より感謝申し上げます。

それでは資料に基づき御説明いたしますが、川崎アゼリアのリニューアル工事は資料 3 にございます、1 期という 2 月～7 月まで行うものと、地図で言うと図面の下のほうの茶色い部分の飲食街を第 2 期として工事を実施するものがございます。そして、その他、ファッションや生活雑貨が中心となる若草色の部分を 3 期として、3 つに分けて工事を行いまして、最終的には来年の 3 月をグランドオープンという形で目指しております。

アゼリアの通路は公共用地下歩道として、主要通路は確保しなければならない。また、川崎駅東口のバスターミナルへの通路 4ヶ所を確保しなければならないということでございます。今回の 1 期工事の灰色の部分についてですが、ここに何ができるのかと申しますと、ここに食物販ゾーンを作る計画でありまして、スーパーマーケットや肉屋、魚屋、八百屋、惣菜屋、スイーツ等の店舗ができるものでございます。このため、スカイウォークとオーシャンウォークが通行できない形となっております。そのため、450 名ほど収容できなくなるということが実態でございます。今後、第 2 期におきましても収容人員に影響が出るものでございます。それに対応して、いざというときにどこに避難させればいいのかという対応をアゼリアとしては考えているところでございます。いずれにいたしましても、食物販ゾーンを充実いたしますと、いざという場合には、備蓄倉庫的に食料がござい

ますので、そういう役割も果たせるのかなと考えております。今後、工事期間中は色々と皆様に多大なる御不便をおかけすることとなり、大変申し訳ございませんが、御理解と御協力の程をお願いして、私からの説明を終わらせていただきます。

座長 総務局危機管理室 中村室長

どうもありがとうございます。この件に関しまして御意見、御質問等がございましたらお受けしたいと思いますが、いかがですか。

(意見なし)

それでは、続きまして、臨海部の帰宅困難者対策について、事務局から説明させていただきます。

事務局 総務局危機管理室 須田課長

それでは資料4を御覧ください。臨海部にも帰宅困難者用の一時滞在施設を指定したところでございます。

(以下、資料4に基づき説明)

座長 総務局危機管理室 中村室長

ただいまの報告につきまして、皆様からの質問はありますでしょうか。

(意見なし)

それでは議事(3)来年度のスケジュールについて説明させていただきます。

事務局 総務局危機管理室 須田課長

それでは引き続き資料5を御覧ください。

(以下、資料5に基づき説明)

座長 総務局危機管理室 中村室長

只今、来年度のスケジュールについて、説明がございました。引き続き、無線機の通信訓練を実施していくということと、協議会の開催につきましては3回を予定しております、そのうち2回目が帰宅困難者の訓練ということになります。皆様の異論がなければこのスケジュールで進めさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは御承認いただいたということで、来年度についてはこのスケジュールで協議会を開催させていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

3 その他

座長 総務局危機管理室 中村室長

皆様方から連絡事項等がございましたら、お願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

川崎区役所 北沢副区長

川崎区の北沢です。よろしくお願いいたします。川崎区では臨海部帰宅困難者対策ということに関しまして、危機管理地域協議会の中で部会を設けて検討をしております。臨海部の7つの島からは防災協議会の皆様にも出席いただいたりして、川崎駅周辺に集中しないような帰宅抑制の原則を確認している訳なんですけれども、企業さん側でも行動ルールを作成しておりますし、帰宅抑制という方向で動いてはいるのですが、やはり家族の安否ですとかが確認できないと帰宅の方向に向いてしまう場合がありますので、そのようなことが起こらないように取り組んでいきたいと思いますということになっております。また一方で、道路の状況ですとか、駅周辺の混雑状況ですとか、そういった情報が企業さん側に伝われば帰宅抑制につながるのではという話も上がってきていますので、そういった情報をいかに迅速に受発信できるかということも今後の課題という形で協議しているところです。来年度も11月18日に予定されている川崎駅周辺あるいは市内全域の帰宅困難者訓練の際に何かしらの情報の受発信に関する連携訓練というものが取れば一緒に考えていきたいなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

座長 総務局危機管理室 中村室長

ありがとうございます。来年度の帰宅困難者訓練につきましては、全市的に行っていくということですので、今の川崎区の御提案を踏まえて検討していきたいと考えております。

その他に何かございますでしょうか。それでは無いようですので、以上で議事を終了し、議事を事務局にお返しいたします。

司会 総務局危機管理室 須田課長

ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、「第3回川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会」を閉会とさせていただきます。来年度も引き続き、よろしくお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。

以上